

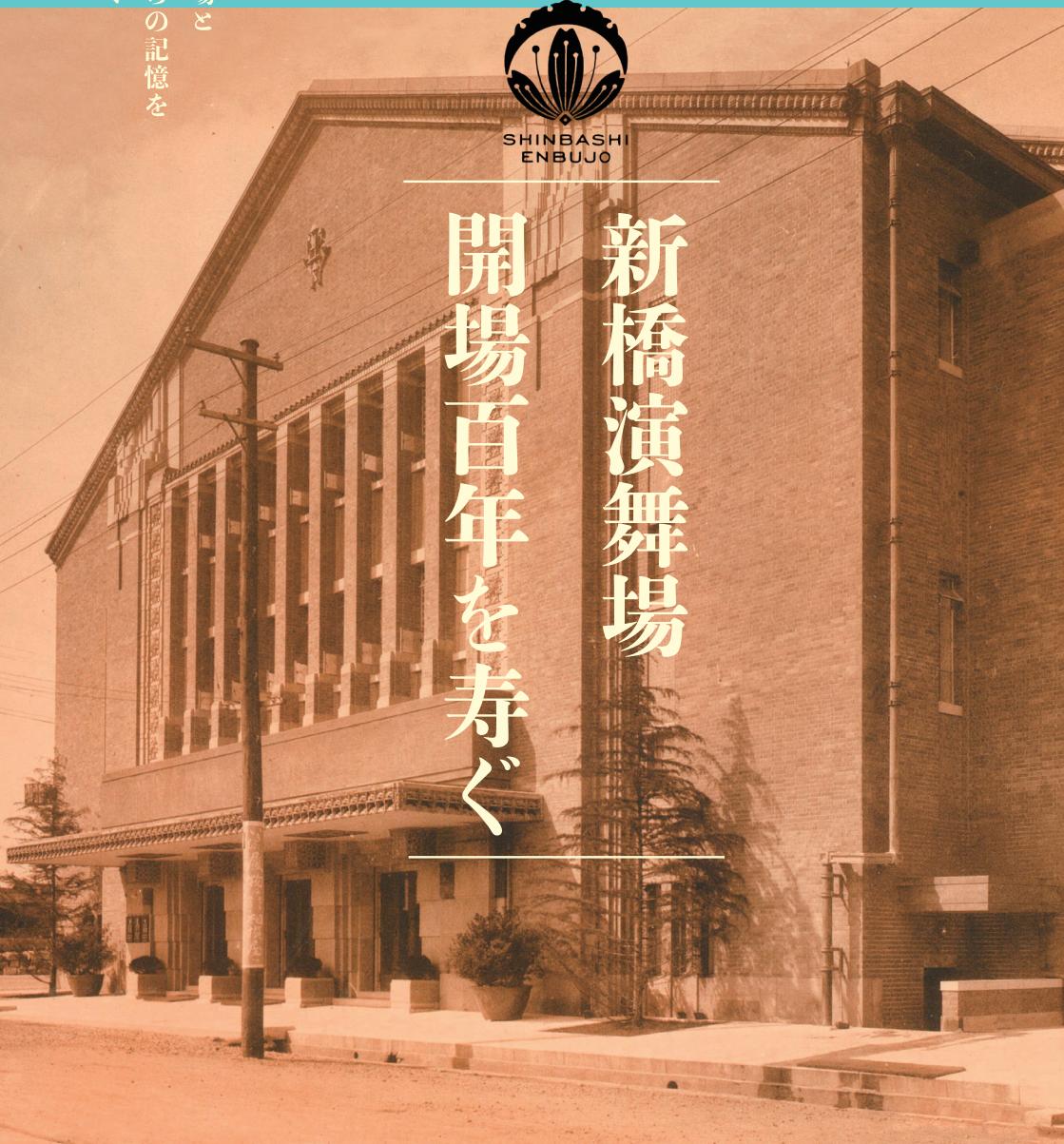
紡ぐ
劇場と
まちの記憶を

100TH



SHINBASHI
ENBUJO

新橋演舞場 開場百年を寿ぐ



江戸時代からづく芝居町の賑わい

劇場は人々が集う文化の中心。
日々の生活や文化を豊かにし、
街の賑わいにも重要な役割を
果たしてきました。



『浮繪堺町葺屋町顔見世夜芝居之圖』東京国立博物館所蔵

演劇・映画の専門図書館 松竹大谷図書館のある東京都中央区は、江戸時代初の幕府公認の芝居小屋である中村座（当時猿若座）が創設された江戸歌舞伎発祥の地であり、江戸三座を始めとした多くの芝居小屋が興隆を極めた地です。明治時代には江戸三座のうち森田座の流れを汲む「新富座」が新富町に開場し、いち早くガス灯などの西洋文化を取り入れ、関東大震災で焼失するまで日本演劇の近代化に貢献しました。

新橋演舞場が開場してはや百年



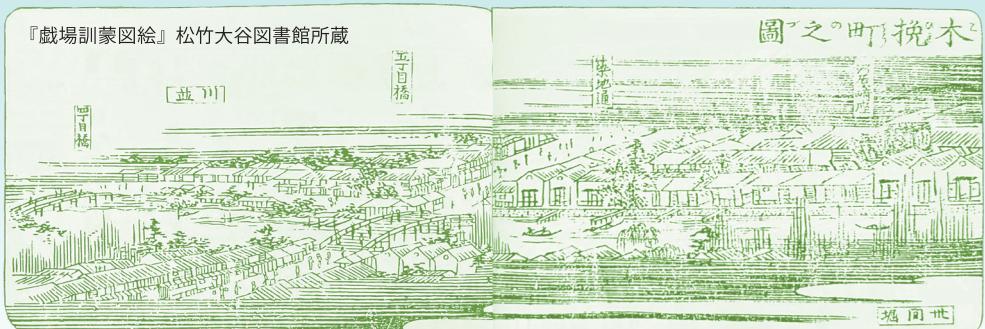
昭和4(1929)年11月
新橋演舞場
第五回新橋温習會番組



昭和4(1929)年4月
五周年記念 第五回東をどり



『戯場訓蒙図絵』松竹大谷図書館所蔵

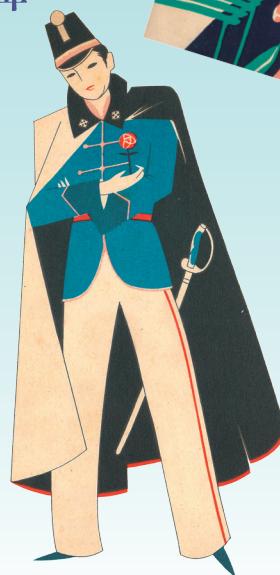


大正14(1925)年 新橋演舞場が開場。

なかでも一〇二五年に創設 100周年

を迎えた「新橋演舞場」は、大正末期に新橋芸妓の技芸向上を披露する場として開場し、現在も「東をどり」を開催するほか、歌舞伎からミュージカルに至る幅広いジャンルの興行を行う劇場として、深く地域に根付き、人々が集う文化の中心ともなっています。

昭和9(1934)年4月
十周年記念
東をどり番組



大正14(1925)年 新橋演舞場が開場。

なかでも一〇二五年に創設 100周年

を迎えた「新橋演舞場」は、大正末期に新橋芸妓の技芸向上を披露する場として開場し、現在も「東をどり」を開催するほか、歌舞伎からミュージカルに至る幅広いジャンルの興行を行う劇場として、深く地域に根付き、人々が集う文化の中心ともなっています。

劇場プログラムは時代を映す鏡。

観劇の記念に、また、作品をより深く理解するためには購入する芝居見物のお供

プログラムには、上演演目についての情報だけでなく、劇場の座席表や、

場内の売店・食堂の様子なども掲載さ

れており、当時の生活文化に影響を与えたのかをることができます。

また、劇場の観客を対象とした地域周辺の店舗や化粧品など、さまざまな広

告が掲載された。プログラムは、出版当

時の社会や世相を反映していく、生活文化を物語る貴重な資料となっています。

松竹大谷図書館では、江戸末期から明治・大正時代の

貴重な演劇興行資料を数多く所蔵しています。興行時に作られ、当時の観客も手にした番付や筋書――、

現在のポスターや劇場プログラムにあたる資料です。



資料検索 デジタルアーカイブ アクセスマップ 03-5550-1694

松竹大谷図書館とは
ご利用案内
所蔵資料のご紹介
資料の探し方
お知らせ
開館日カレンダー

松竹大谷図書館所蔵・貴重資料検索閲覧システム
松竹大谷図書館が所蔵している貴重資料の一部をデジタル画像で閲覧できます

ご利用ガイド

義太夫正本
芝居番付・筋書
G H Q 檢問歌舞伎台本
組上燈籠絵
特別資料
川上音二郎・貞奴一座
欧米公演関係資料アルバム
竹本床本

松竹大谷図書館公式 HP
デジタルアーカイブ

QRコード

新橋演舞場の戦前プログラムを公開します。

日本近代演劇の発展に重要な役割を果たし、開場100周年を迎えた「新橋演舞場」。その貴重な資料を、ぜひデジタルアーカイブをご覧ください。

新橋演舞場の戦前プログラムを公開します。

今回、一般財団法人小森文化科学財団の助成金により、松竹大谷図書館が所蔵する新橋演舞場の大正期から昭和戦前期のプログラムをデジタル化し、2025年内にweb公開します。

昭和11(1936)年11月
前進座



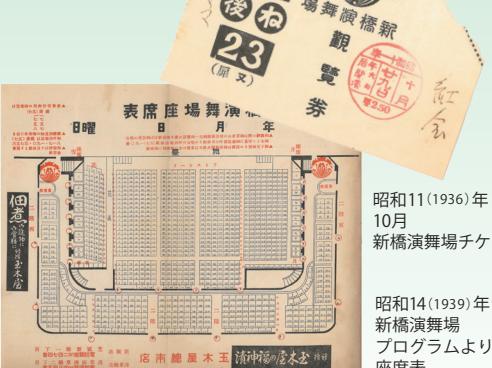
昭和6(1931)年7月
新国劇



大正15(1926)年1月
曾我廻家五郎劇



新橋演舞場プログラム
番組に掲載された広告



昭和11(1936)年
2月28日初日
松竹少女歌劇



昭和17(1942)年7月
大阪文楽座
人形浄瑠璃芝居



大正14(1925)年6月
尾上菊五郎一座



新橋演舞場は日本の舞台芸術の殿堂。

今回のデジタル化で、
Web公開される大正
14(1925)年より昭和

20(1945)年までのプログラム
から、日本の近代演劇の発展に
重要な役割を果たしてきた新
橋演舞場の公演の軌跡をたど
ります。

大正14(1925)年4月 柿落し公演
「東をどり」からはじった新橋演舞場。
空襲により焼失しながらも、昭和23
(1948)年に再開し、歌舞伎・新国劇・前進
座をはじめ、松竹新喜劇、新国劇や前進
座を軸にバラエティー豊かな舞台で観
客を楽しませ、開場100周年を迎
ました。

最初の演劇公演は歌舞伎

歌舞伎初上演は新橋演舞場開場の翌月
大正14(1925)年5月6日、六代目
尾上菊五郎一座でした。その後も初代
中村吉右衛門一座、二代目市川左團次
一座、「東西合同大歌舞伎」など歌舞伎
公演を数多く行っています。



昭和53年2月撮影 松竹大谷図書館所蔵

文楽公演の東京の拠点

昭和3(1928)年7月、「御目見得
狂言」として初出演。

国立劇場が建設されるまで、新橋演
舞場は東京の拠点のひとつでした。

新橋演舞場と縁の深い新派

初登場は大正14(1925)年9月、伊
井蓉峰一座。その後、新橋演舞場は新
派のホームグラウンドと呼ばれるよう
に。



前進座

昭和6(1931)年に結成された前進
座は、結成の翌7(1932)年8月から、
新橋演舞場に出演。以来、毎年出演が
続きました。



大正14(1925)年6月「義経千本桜」



昭和5(1930)年3月
尾上菊五郎一座

大正14(1925)年6月「生きている小平次」



喜劇の系譜

曾我廻家五郎劇から松竹家庭劇、そ
して松竹新喜劇へ。大正14(1925)年
11月、やがて毎年の新橋演舞場恒例と
なる曾我廻家五郎一座の「五郎劇」第
一回公演が上演されました。

歌と踊りによる 華やかな少女歌劇も

昭和6(1931)年3月初登場の宝
塚歌劇が大規模なレヴューや上演。昭
和10(1935)年2月には、大正12(19
23)年大阪で誕生、東京では昭和3
(1928)年に発足した松竹少女歌劇公
演が登場しました。



昭和10(1935)年2月
松竹少女歌劇



昭和18(1935)年6月 前進座

松竹大谷図書館は開館67周年を迎えました。



松竹大谷図書館は、松竹株式会社の創業者一人・大谷竹次郎が昭和30年に文化勲章を受章したことを記念して、昭和33年7月に開館した、演劇と映画専門の私立図書館です。歌舞伎をはじめとする演劇や映画の図書雑誌、台本、筋書、写真などの資料を所蔵。広く一般に公開し、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とし活動しております。開館以来、松竹以外の作品も収集し、資料の充実を図っております。

当館は閉架式の図書館のため、資料は全て閉架書庫に配架されております。カード目録や検索システム(OPAC)等で検索し、カウンターにて資料を請求してください。



資料検索 (OPAC)



X



Instagram



Facebook

このリーフレットは、一般財団法人小森文化科学財団 2025 年度助成金により作成したものです。

演劇・映画の専門図書館

公益財団法人

松竹大谷図書館



開館時間：平日 10:00～17:00

休館日： 土曜日、日曜日、祝日、毎月最終木曜日、5月1日
11月22日、年末年始、春期・夏期整理期間

閲覧： 館内閲覧のみ

入館料： 無料。どなたでもご利用になれます。



●交通案内●

東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線東銀座駅5番出口より徒歩3分

東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分

歌舞伎座より徒歩3分

〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3階

TEL: 03-5550-1694

<https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>

ご支援のお願い

図書館事業を確実かつ永続的に行ない、さらなる社会貢献をしていくために、皆さまからの寄附金を募集しております。

松竹大谷図書館は公益認定を受けた財団法人ですので寄附者の方は税制上の優遇措置を受けることができます。皆さまのお力添えをお願い申し上げます。